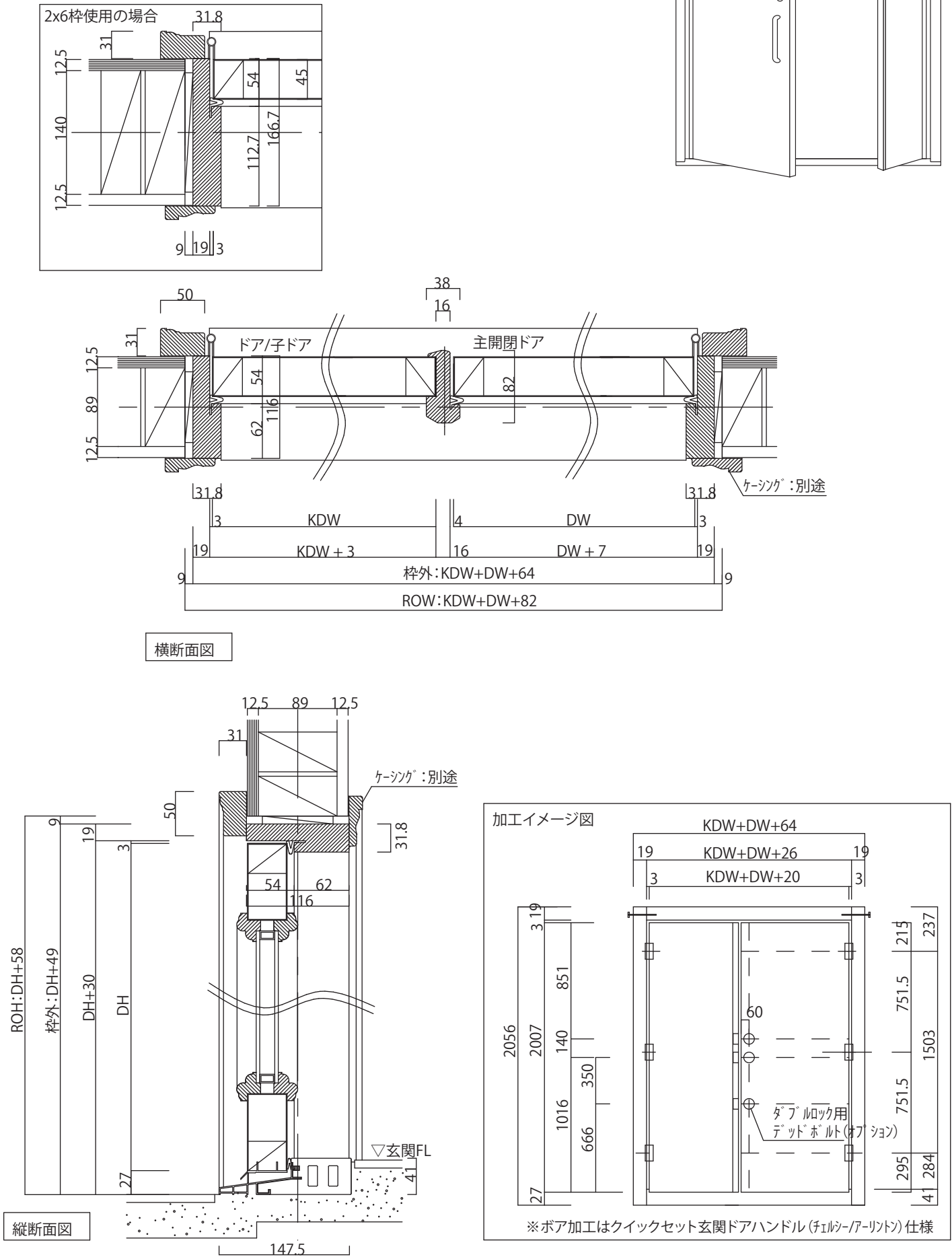
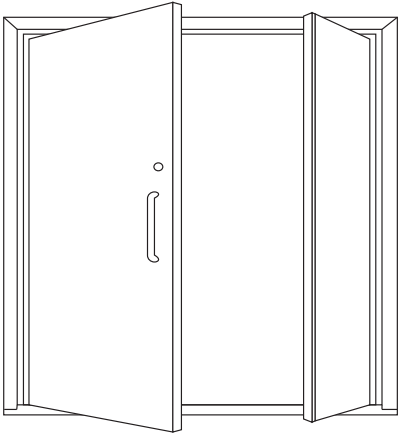


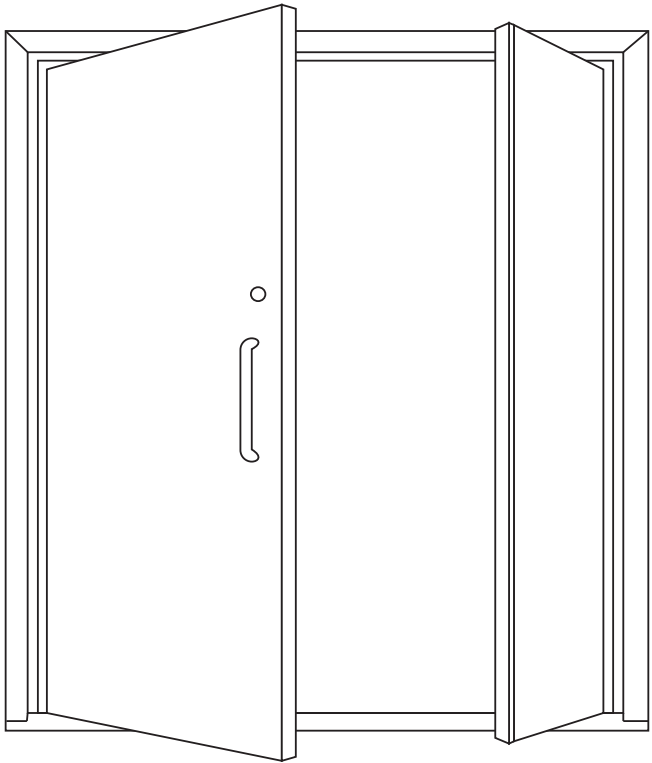
両開き/親子ドア納まり図 【樹脂製枠】



木製枠、その他の仕様は当社Webサイトの「カタログ・図面ダウンロード」ページよりご参照ください。

PreSet Door エクステリアドア 施工説明書

両開き / 親子ドア ノックダウン仕様



注意事項

- ・開梱時に種類と数量を確認してください。
- ・商品に破損や異常がないか確認してください。
- ・万一商品に破損や異常がある場合、部品が不足している場合は、弊社営業担当者までご連絡ください。
- ・玄関ドア以外への転用および改造は行わないでください。
- ・ねじ止め箇所は、指定してあるねじを全て確実に止めてください。
- ・ドア本体は重いもので約 50kg あります。建て込みの際には三人以上で扱うなど、取り付けには十分ご注意ください。
- ・シーリング（コーキング）は、塗布箇所を十分に清掃し、指定箇所全てを確実に行ってください。
- ・組立・取り付け完了後、開閉作動や施解錠が正常に行うことができること、および使用上の不具合がないか確認してください。
- ・施錠した状態で枠とドア間等に隙間が生じていないか、ご確認ください。
- ・不具合がある場合は確実に建て付け調整をしてください。
- ・引渡し前に清掃を行い、商品にゴミや異物が付着していないことを確認してください。

梱包内容

標準セット	梱包内容	数量	備考	確認
ドア	ドア	2 枚	ボトムウェザーストリップ付	
ドア枠	ドア枠	3 本	樹脂製 2×4/2×6 又は木製（上枠 1 本 縦枠 2 本）	
	ウェザーストリップ	5 本	ドア枠、アストラガル、ボトムシルに使用	
	ブリックモールド	3 本	樹脂製 又は木製（上用 1 本 縦用 2 本）	
	ボトムシル	1 本		
	平丁番（長ビス 2 本）	6 枚	ゴールド / シルバー / アンティークプラス / ブラック	
	アストラガル	1 本	樹脂製又は木製	
	フランス落とし	2 本	ゴールド / シルバー / アンティークプラス / ブラック	
	組立・躯体取付用ビス	24 本		

## 施工手順

## ①上枠と縦枠の取り付け（定寸カット・欠き込み加工済み）

三方枠を組み立てます。

- 上枠と縦枠は片側 4 本のビス（65mm）で固定します。

【ポイント】・縦枠の上枠が取り付け部分（戸当り部分）

に一部欠き込みが施してあります。

- 縦枠に 4 ヶ所の下穴が開いています。

- 縦枠の上枠が取り付け部分にシリコンコーキングを打ちます。

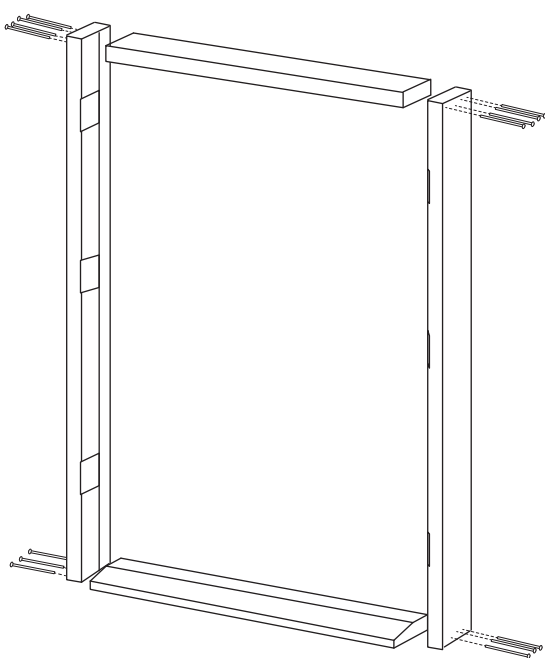
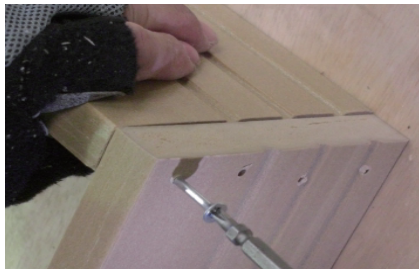
戸先側、吊元側共に同じ様にビス止めします。

【ポイント】・接着目的にシリコンコーキングを打ちますが、

塗装を考慮しシリコンコーキングがはみ出

ない様に注意してください。

戸当り部分が縦枠、上枠共段差ができないよう注意してください。



## ②ボトムシル（沓摺り）の取り付け

- ボトムシルと縦枠は片側 3 本のビス（65mm）で固定します。

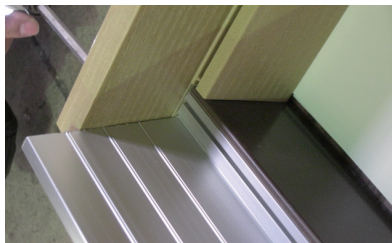
- 縦枠のボトムシルが取り付け部分にシリコンコーキングを打ちます。

戸先側、吊元側共に同じ様にビス止めします。

【ポイント】・縦枠に 3 ヶ所の下穴が開いています。

- 接着目的にシリコンコーキングを打ちますが、塗装を考慮しシリコンコーキングがはみ出

ない様に注意してください。戸当り部分が縦枠、下枠共段差ができないよう注意してください。



## ③主開閉側ドアの準備

- 丁番を付属のビスを使用しドアに固定します。

開き方向を確認し丁番の向きを決めてください。

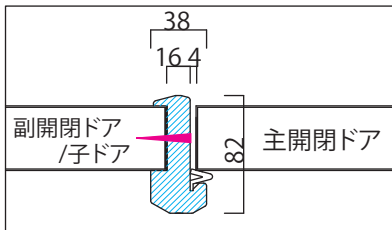
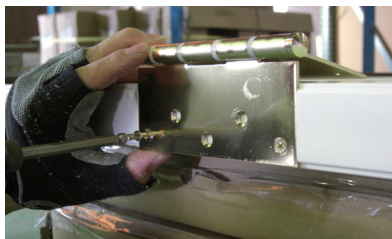
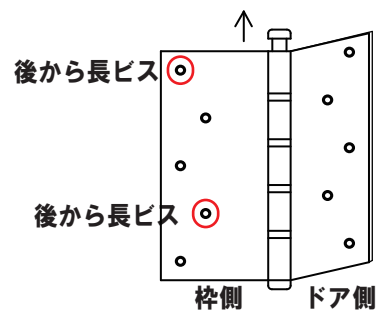
【ポイント】・丁番の上下を確認し取り付けてください。

- 取り付け位置（丁番の出入り）を必ず合わせてください。

## ④副開閉側ドアの準備

- ③と同じ要領で丁番を固定する。

- アストラガルは、フランス落としと干渉しない様上下端から 20cm のところをビスで固定し、そこから 30cm ピッチでビスで固定します。ビス頭が見えますので、1mm 程度深くビスを打ちパテ埋めするか、ビスキャップをご用意いただき施工してください。



## ⑤ドアと枠の取り付け

- 丁番の固定位置が縦枠に欠き込みされています。付属のビスを使って両方のドアを固定します。

【ポイント】各丁番 5 本ビスで固定しますが、上から 1 番目と 4 番目には長ビスを使用しますのであけておきます。

- フランス落としの受けは加工されていません。ドア枠を躯体に固定してから現場に合わせ、上下受け加工してください。

- 丁番の芯を抜いて、ドアと枠を外しておきます。間のリングをなくさないようにご注意ください。

## ⑥枠を躯体に取り付け

- 躯体と枠のクリアランスにスペーサーを入れます。

両側の丁番部等に 7 ヶ所程度（丁番の下とその中間、上下のコーナー部等）

枠外寸法に合わせてスペーサーを固定します。

- 組み立てたドア枠を躯体開口部に入れます。

【ポイント】枠の室内側の面を石膏ボードの面と平らになるように、

室外側から当て木を当てて軽く叩いて調整します。

- 主開閉側のスペーサーの部分にビスを打ち固定します。

この時ビス頭が隠れるようにウェザーストリップで隠れる部分に打ちます。

- 各丁番の上から 1 番目と 4 番目に付属の長ビスを打ち、躯体まで止めつけます。

【ポイント】ドアの重みによる枠の変形・ドアの下がり等の不具合が発生する恐れがありますので、

必ず長ビスを躯体に固定してください。

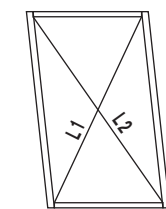
- 主開閉側の固定が終わったらボトムシル（沓摺り）が水平になるように調整します。

- 副開閉側を固定する前に枠内寸法を確認し、必要ならスペーサーを追加してビスで固定します。

【ポイント】枠内寸法は必ず上から下まで数ヶ所確認し、合わせてください。

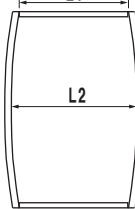
【枠の取り付けについて】枠を取り付ける際には、以下の寸法をお守りください。

枠の対角寸法差



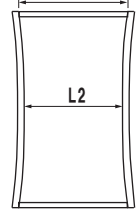
L1-L2=3mm 以下

枠のはらみ



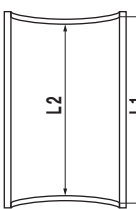
L2-L1=2mm 以下

枠のつづみ



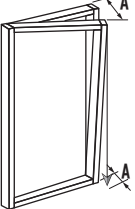
L1-L2=2mm 以下

枠のそり



L1-L2=±3mm 以下

枠のねじれ



A=2mm 以下

## ⑦ウェザーストリップの取り付け

- ウェザーストリップが 5 本同梱されています（L=2075mm）。

- 上枠・左右縦枠・下枠の順番で枠内の寸法に合わせてカットしてください。

- ウェザーストリップは四方に取り付けます。

四隅は隙間があかないようにウェザーストリップを取り付けてください。



## ⑧ブリックモールドの取り付け

- 各現場の指示に従いちり寸法を合わせブリックモールドを取り付けます。

上の両隅部は留加工（45 度カット）で収めます。

- 縦枠上枠共、適正なちり寸法でカットしておきます。

【ポイント】ブリックモールドのコーナー部（留部）の段差発生を

防ぐ意味で上部よりビスで固定してください。

ブリックモールドの傷や開閉時の摩擦音を防ぐ為、

丁番とブリックモールドは必ず隙間を空けてください。

- ブリックモールドを枠側躯体側共に隙間やグラツキの無い様に固定します。

打ち込み跡が目立ちにくいよう、フィニッシュネイルの使用をお勧めします。

接着剤は現場の指示に従って使用してください。

最後に丁番の芯を戻して、ドアを取り付けます。

